



岩井美保子議員

# 福祉タクシー

## 香託の内容は

町長

総合的な観点から調整

問

福祉タクシー事業は登録者278人で、平成21年の12月の利用者は、のべ人数で142人である。利用者は喜んでいますが、一方で見直しを望む人もいます。体調に合わせた使い方が

答

森田町長

福祉タクシー事業は高齢者のみの世帯等で一般の交通機関の利用が困難・障害者手帳を持つ人等を対象としている。家から目的地までのタクシー代の2/3を、利用回数1回を限度として負担している。医療機関以外は町内の部分のみとしている。

利用回数	該当者数	割合
1	66人	46.5%
2	36人	25.4%
3	21人	14.8%
4	13人	9.2%
5	6人	4.2%
合計	142人	100.0%

福祉タクシー実績表(平成21年12月)

福祉タクシー事業は高齢者のみの世帯等で一般の交通機関の利用が困難・障害者手帳を持つ人等を対象としている。家から目的地までのタクシー代の2/3を、利用回数1回を限度として負担している。医療機関以外は町内の部分のみとしている。

昨年9月までは、「月2回を限度」としていたが、10月以降は医療機関が目的の場合について「週1回」「実質的には月4回ないし5回」へと回数を増やし、利用者への便宜を図ってきた。

利用する人の中には、1週のうちに複数回、利用したい場合もあると思う。

ある程度定期的な通院を、補助の対象として手厚くする必要があるので配慮し、週1回に定めたものである。

問

# 恵みの里公社 会員の士気が低下

町長

反省し精力的に取り組む

「大山恵みの里公社」会員の士気が低下している。士気高揚のためどのような行政指導をしたか。

答

森田町長

組織や運営形態の変更に

伴って、一部の会員にとまどいが生じたことはあると思う。

会員の自主的、意欲的な取り組みが重要なことであると認識している。

きめ細かな対応が必要であると理解し、スーパールの視察、生産者部会の組織化



本稼動を待つ農産物処理加工施設

などに取り組んできた。人的体制等の制約もあり、必ずしも十分な対応ができていなかったと感じている。

平成22年度に向けて現在の反省をふまえて課題を把握し、精力的な取り組みをする。